



SolidWorks 教育版 2009-2010 日本語インストールガイド

本書は SolidWorks 教育版 2009-2010 を DVD からインストールする際の手順を詳しく説明するものです。
インストールされるバージョンは SolidWorks 2009 SP2.1 です。

関連ガイドについては、SolidWorks Japan ウェブサイト - テクニカルサポート内 - 参考資料 - アドミニストレーティブガイド <http://www.solidworks.com/pages/services/ServicePacks.html> の各該当マニュアルをご参照ください。

インストールの前に必ずお読み下さい

- (1) お客様のシステム構成が次の条件を満たしている事をご確認ください。
http://www.solidworks.com/System_Requirements
- (2) SolidWorks はインストールする PC に装備された DVD ドライブからのインストールが推奨です。
- (3) SolidWorks は Windows XP では Power User 以上のユーザー権限、Windows Vista では標準ユーザー以上のユーザー権限が推奨です。



© 1995–2008, Dassault Systèmes

Dassault Systèmes SolidWorks Corporation, a Dassault Systèmes S.A. company,
300 Baker Avenue
Concord, Massachusetts 01742 USA
All Rights Reserved.

U.S. Patents 5,815,154; 6,219,049; 6,219,055;
6,603,486; 6,611,725; 6,844,877; 6,898,560;
6,906,712; 7,079,990; 7,184,044 and certain other
foreign patents, including EP 1,116,190 and JP
3,517,643. U.S. and foreign patents pending.
本ドキュメントに記載されている情報とソフト
ウェアは予告なく変更されることがあり、
Dassault Systèmes SolidWorks Corporation (DS SolidWorks)
の保証事項ではありません。
DS SolidWorks の書面による明示的な許可なしにいか
なる資料も電子的、機械的を含めその目的、方法
に関わりなく複製、頒布はできません。
本ドキュメントに記載されているソフトウェアは
使用許諾に基づくものであり、当該使用許諾の条
件の下でのみ使用あるいは複製が許可されていま
す。DS SolidWorks がソフトウェアとドキュメントに
関して付与するすべての保証は、エンドユーザー
使用許諾契約及びSubscription Service Agreement
に規定されており、本ドキュメントまたはその内
容に記載、あるいは黙示されているいかなる事項
もそれらの保証、その変更あるいは補完を意味す
るものではありません。
SolidWorks, 3D PartStream.NET, 3D ContentCentral,
PDMWorks, eDrawings, eDrawings のロゴは
DS SolidWorks の登録商標です。FeatureManager は
DS SolidWorks が共同所有する登録商標です。
Enterprise PDM, SolidWorks 2009 は、
DS SolidWorks の製品名です。
FloXpress, Feature Palette,
PhotoWorks, TolAnalyst, Xchange Works は
DS SolidWorks の商標です。
FeatureWorks は、Geometric Software Solutions Co.
Ltd の登録商標です。
その他、記載されているブランド名、製品名は各
社の商標及び登録商標です。

文書番号: SWIG.JPNEE2009-2010

U.S. Government Restricted Rights. Use, duplication,
or disclosure by the government is subject to
restrictions as set forth in FAR 52.227-19 (Commercial
Computer Software – Restricted Rights), DFARS
227.7202 (Commercial Computer Software and
Commercial Computer Software Documentation), and
in the license agreement, as applicable.

Contractor/Manufacturer:
Dassault Systèmes SolidWorks Corporation, 300 Baker
Avenue, Concord, Massachusetts 01742 USA
Portions of this software © 1990–2008 Siemens
Product Lifecycle Management Software III (GB) Ltd.
© 1998–2008 Geometric Software Solutions Co. Ltd.
© 1986–2008 mental images GmbH & Co. KG.
© 1996–2008 Microsoft Corporation
Outside In® Viewer Technology, © 1992–2008 Stellant
Chicago Sales, Inc.
© 2000–2008 Tech Soft 3D
© 1998–2008 3DConnexion, IntelliCAD Technology
Consortium, Independent JPEG Group. All Rights
Reserved.
Portions of this software incorporate PhysX™ by
NVIDIA 2006 – 2008.
Portions of this software are copyrighted by and are the
property of UGS Corp. © 2008.
Portions of this software © 2001 – 2008 Luxology, Inc.
All Rights Reserved, Patents Pending.
Copyright 1984–2008 Adobe Systems Inc. and its
licensors. All rights reserved.
Protected by U.S. Patents 5,929,866; 5,943,063;
6,289,364; 6,563,502; 6,639,593; 6,754,382; Patents
Pending.

Adobe, Adobe ロゴ, Acrobat, Adobe PDF ロゴ,
Distiller, Reader は米国および/ または各国のAdobe
Systems Incorporated の登録商標または商標のいずれか
です。Adobe PDF Library の知的所有権情報について
は、ヘルプを参照してください。
Other portions of SolidWorks 2009 are licensed from
DS SolidWorks licensors.
All Rights Reserved.

COMMERCIAL COMPUTER
SOFTWARE – PROPRIETARY

目 次

Part I SolidWorks クライアントインストール	1. SolidWorks 2009 インストール方法	… 4
	2. SolidWorks Workgroup PDM のインストール	… 12
Part II SolidWorks SolidNetWork ライセンス インストール	1. 概要	… 16
	2. バージョンアップ手順	… 17
	3. インストール手順	… 17
	4. ライセンスアドミニストレータに関する機能・操作説明	… 20
	5. システム環境条件等補足説明	… 26
Part III 複数のクライアントマシン へのインストール	1. アドミニストレーティブイメージによる SolidWorks インストール	… 29
	2. SolidWorks アドミンイメージオプションエディタ	… 32
	3. クライアントへの SolidWorks インストール	… 34

●SolidWorks スタンドアロン版のインストール…Part I をご覧ください。

●SolidWorks ネットワークライセンス版のインストール…Part II ⇒Part I をご覧ください。

※SolidWorks 2009 へアップグレードする前に、全ての SolidWorks ファイル(部品、アセンブリ、図面、ドキュメント テンプレート、シート フォーマット、ライブラリ フィーチャー、フォーム ツール)のバックアップ コピーを取ってください。これらのファイルを SolidWorks 2009 で開き、保存すると、以後旧バージョンの SolidWorks で使用することはできません。



Part I SolidWorks クライアント インストール

1. SolidWorks 2009 インストール方法

1.1 SolidWorks InstallationManager

インストールは SolidWorks InstallationManager (以下、IM)より行います。IM を使用して SolidWorks 製品のインストール・アンインストールを行うことができます。

詳細については下記「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーションの概要」の「SolidWorks InstallationManager」をご参照ください。

「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーションの概要」:

http://files.solidworks.com/Supportfiles/SW_Installation_Guide/2009/Japanese/WebHelp/Installation.htm

1.2 SolidWorks 2009 のインストール

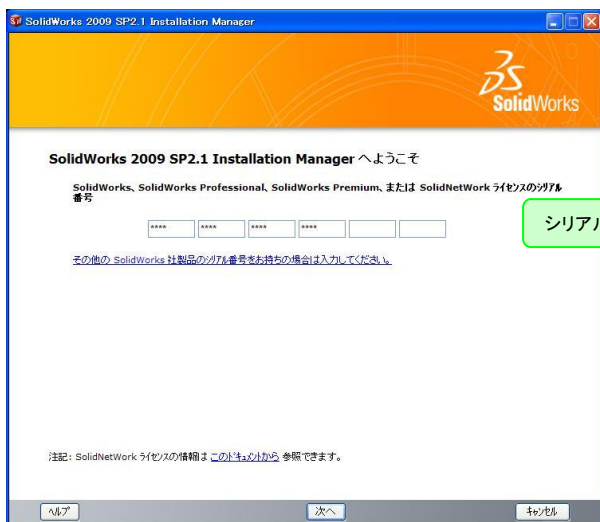
SolidWorks 2009 および関連製品のインストールは、SolidWorks 2009 DVD を PC にセットすることで setup プログラムが自動起動し、開始できます(注: インストールする PC に装備された DVD ドライブからのインストールが推奨です。自動起動しない場合は、DVD 内の「sldim.exe」をダブルクリックすることで開始できます)。その後は、表示されるメニューに従って選択または入力を行うことで簡単にインストールできます。

以下に、インストール中に表示される主なダイアログメニューに関する補足説明を記します。

なお、インストールに関する詳細はそれぞれの画面において [ヘルプ] ボタンより確認していただくことができます。



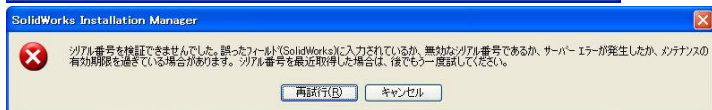
(1) 32 ビット・64 ビット版 SolidWorks とともに、インストーラが起動すると SolidWorks Installation Manager ウィンドウが表示されます。ここでお待ち serial number を入力し、[次へ] ボタンをクリックしてください。



※ この画面でシリアル番号を入力しない場合は無償の製品のみインストールができます。
eDrawings, SolidWorks Explorer など。



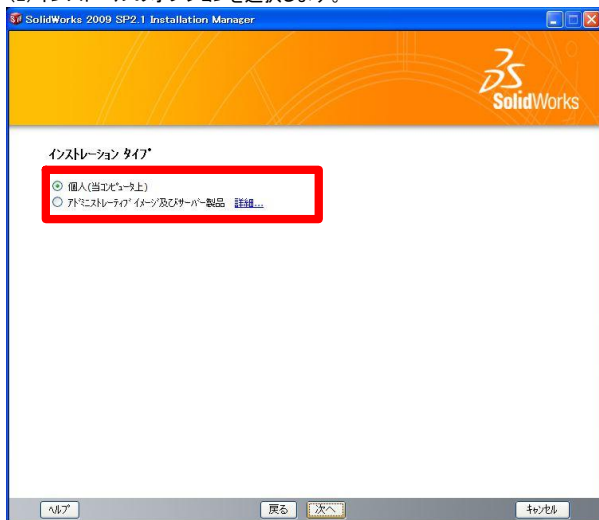
※ インターネットに接続できない場合等に [次へ] をクリックするとこのような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックすると



次へ進みます。(4)-1 を参照してください。



(2) インストールのオプションを選択します。



上記枠内でいずれかを選択し、[次へ]をクリックします。

●<個人(当コンピュータ上)>

通常インストールになります。⇒ [次ページへ進む](#)

●<アドミニストレーティブイメージ及びサーバー製品>

サーバー上にサーバー用製品のインストールを行います。

それぞれの内容を確認するには [詳細...] をクリックしてください。

・<アドミニストレーティブ イメージを作成/更新します。> ⇒ [P.29](#) へ進む

・<SolidWorks Workgroup PDM Server (ポルト)をこのコンピュータにインストールします。>

⇒ [P.12](#) へ進む

・<SolidNetWork ライセンスサーバー (配布ライセンス)をこのコンピュータにインストールします。>

⇒ [P.16](#) へ進む



(3)既に SolidWorks がインストールされている場合にのみ、更新オプション ウィンドウが表示されます。新規インストール、又はアップグレードする既存のインストールを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



注記: 既存のバージョンからの SolidWorks 教育版 2009-2010 への更新インストールは行わず、一度、既存バージョンをアンインストール後に、あらためて SolidWorks 教育版 2009-2010 をインストールすることをお勧めいたします。

(4) SolidWorks 製品の選択画面が表示されます。




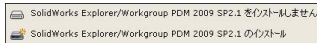
インターネットに接続されている環境では、最初に入力したシリアル番号に従って自動的に製品が選択されます。

※ ここで SolidWorks Simulation、SolidWorks Motion、SolidWorks Flow Simulation、COSMOSM 製品も含め全て選択できます。



(4)-1 インターネットに接続されていない環境等において、または(4)-1aの「シリアル番号に含まれない製品を表示します」にチェックをした場合には、製品を選択するリストが表示されます。教育版では SolidWorks Premium を選択してください。

(4)-2 もし何らかの理由でインストールしたくないアドイン製品がある場合は、製品毎に  をクリックすることによりインストールするか否かの選択が可能です。



(4)-3 [参照]ボタンをクリックすることにより、SolidWorks のインストール先を変更することができます。

(4)-4 上記を設定後、[次へ]をクリックします。

(※) 3D Instant Website は、日本語フィーチャー等がサポートされておらず、機能的に制約があるため国内サポート対象外です。ただし、お客様の責任において利用することは可能です。

(5) **SolidNetWork ライセンスを使っているクライアントインストール時のみ** SNL サーバー位置指定のダイアログが表示されます。ガイダンスを読み「25734@サーバー名」のように入力し、[OK]をクリックします。



(6) **Toolbox と穴ウィザードオプション画面**が表示されます。



[参照]をクリックして、既存の Toolbox ライブラリ位置を指定するか、新しい Toolbox ライブラリのインストール位置を指定します。



(7) インストールが完了すると、「インストール完了」画面が表示されます。

・「**SolidWorks 2009 の新規項目を表示**」にチェックが入っていると、[完了]をクリック後に新規機能のガイド文書(PDF)が起動します。

・「**インストールをより良くするために、アンケートにご協力ください。(英語のみ)**」にチェックが入っていると、[完了]をクリック後に英語でのアンケートが表示されます。コメントに記入する場合には英語で記入してください。

「**SolidWorks ユーザーパフォーマンス フィードバックプログラム**」では、インターネットに接続できる環境であれば「はい、参加します」を選択してください。SolidWorks が実際の使用でどのように動作しているかを把握し、今後の開発に役立てることを目的としたものです。SolidWorks の起動/終了時間、使用状況等、いくつかの情報を記録したログファイルが生成されます。インターネットに接続できる環境の場合にのみ、定期的に SolidWorks 社へ自動送信が行われます。この設定はインストール後、SolidWorks のツール/オプションでも変更できます。

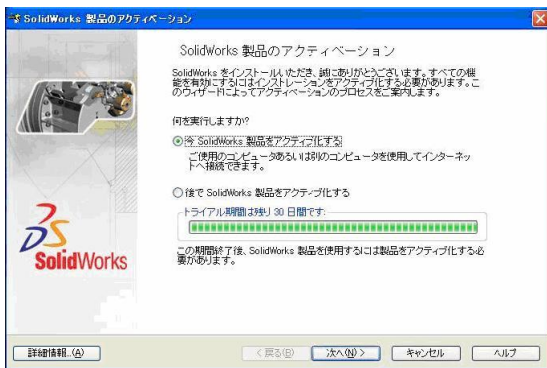




(8) インストールが完了後に製品の変更等を行う場合にはコントロールパネルの[プログラムの追加と削除]より SolidWorks 2009 を選択し<変更>をクリックしてください。(1)~(6)のような手順で変更することが可能です。

(9) 製品の削除を行うにはコントロールパネルの[プログラムの追加と削除]より SolidWorks 2009 を選択し<削除>をクリックしてください。手順に従い選択した製品を削除することができます。

なお、PCを再起動するかのメッセージが表示された場合は、他のソフトウェアを終了の上、必ずPCを再起動して下さい。



スタンドアロン版のみ

最初の SolidWorks 起動時に左のような画面が表示されますので、「今 SolidWorks 製品をアクティブ化する」を選択したまま、<次へ>をクリックします。

ライセンスアクティベーションについての詳細は、「教育」ページの「ライセンスアクティベーション操作マニュアル」をご参照ください。 <http://www.solidworks.co.jp/sw/engineering-education-software.htm>

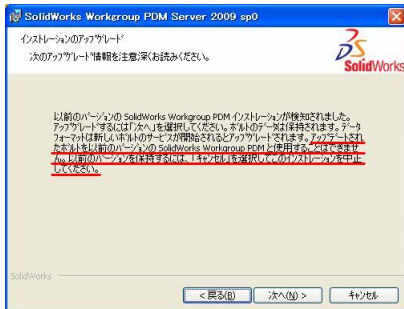
※ 今まで SolidWorks 製品をインストールしたことがない PC に対して初めてインストールを行った場合には、上記のように 30 日間のトライアル期間があります。この期間内であればライセンス アクティベーションを行わなくても製品を使用することができます。

※ この 30 日間のトライアル期間はライセンス アクティベーションを実行した時点で消滅することになります。

2. SolidWorks Workgroup PDM のインストール

2.1 SolidWorks Workgroup PDM Server のインストール

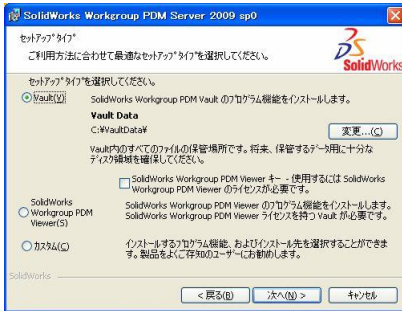
P.5、6 より インストールのオプションを選択する画面において、<アドミニストレーティブイメージ及びサーバー製品>の<SolidWorks Workgroup PDM Server (ポルト)をこのコンピュータにインストールします> を選択します。インストールを開始し、画面上の説明に従って下さい。



指示に従いインストールを進めます。

以前のバージョンの SolidWorks Workgroup PDM がインストールされている場合は、アップデート後は以前のバージョンの SolidWorks Workgroup PDM は使用できなくなることを伝えるメッセージが現れます。

以前のバージョンの SolidWorks Workgroup PDM を保持したい場合はここでインストレーションをキャンセルしてください。



新規インストールの場合は、このセットアップタイプダイアログが表示されるまで、画面上の説明に従って下さい。

セットアップタイプダイアログ ボックスで、Vault を選択します。“次へ”を選択後、画面上の説明に従って Vault のインストールを完了します。なお、VaultAdmin [Vault の管理 (Project の作成、User 権限の変更等) ツール]]はここではインストールされません。次ページの手順 3.3 に従って下さい。

SolidWorks Workgroup PDM Server インストール完了後、ファイアウォールをお使いのマシンでファイアウォールのポートが実行されるように設定するには：
 Windows でスタート (Start)、すべてのプログラム (Programs)、アクセサリ (Accessories)、システム ツール (System Tools)、セキュリティ センター (Security Center) をクリックします。
Windows ファイアウォール をクリックします。
例外 (Exceptions) タブでポートの追加 (Add Port) をクリックし、SolidWorks Workgroup PDM アクセスのための 3 つのポートを追加します。デフォルトのポートは 20000 (VaultAdmin)、30000 (Data)、40000 (Request) となります。



インターネットに接続できる環境の場合は、「はい」を選択して下さい。

SolidWorks Explorer インストールの起動にチェックを入れた状態で「完了」を押すと、引き続き SolidWorks Explorer のインストールが始まります。(SolidWorks Workgroup PDM Clients をお使いになる場合は SolidWorks Explorer をインストールしてください)

2.2 SolidWorks Workgroup PDM Clients のインストール

Workgroup PDM Clients を使用する場合は SolidWorks Explorer をインストールしてください。
P.8 製品の選択画面において、SolidWorks Explorer/ Workgroup PDM をクリックして展開すると以下のような画面を確認することができます。



[SolidWorks Workgroup PDM Client Add-in] は SolidWorks 上で、SolidWorks Workgroup PDM アドインを使用する場合にインストールします。

[SolidWorks Workgroup PDM VaultAdmin] をインストールするかを選択します。



VaultAdmin をインストールした場合はログイン確認を行ってください。デフォルトは下記です。

- ・ユーザー名 : pdmwadmin
- ・パスワード : pdmwadmin
- ・ボルトコンピュータ : Vault がインストールされている PC のホスト名です。Vault がインストールされている PC で VaultAdmin を実行する場合は、localhost と入力します。

Client、VaultAdmin のアップデートに関しては、SolidWorks Workgroup PDM オンラインヘルプを参照して下さい。



Part II

SolidWorks SolidNetWork ライセンス(SNL)サーバー インストール

注意事項

- (1) SolidWorks 2009 SolidNetWork ライセンスマネージャー (以下、SNL マネージャー)は SolidWorks 2008 ~ SolidWorks 2004 SNL マネージャーと同一サーバー内で使用することができません。SolidWorks 2008 ~ SolidWorks 2004 SNL マネージャーを削除した上で SolidWorks 2009 SNL マネージャーをインストールするか、別のサーバーにインストールする必要があります。
- (2) SolidWorks 2003用のライセンス、またはそれ以前のバージョンのライセンスを SolidWorks 2009 にアップグレードしない場合、以前のバージョンの SNL マネージャーとは別に同一コンピュータ上に SolidWorks 2009 SNL マネージャーをインストールし、SolidWorks Web サイトからこれらのコンピュータの各インストールに対応する SNL ファイルを取得する必要があります。
- (3) SNL Flex ライセンスの取得については「教育」ページの「 SolidWorks Customer Portal ご利用ガイド 」をご参照ください。 <http://www.solidworks.co.jp/sw/engineering-education-software.htm>

本セクションでは、SolidWorks 2009 SNL マネージャーのインストール、機能、操作、運用についての代表的な方法について説明します。また、P.4 の「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーションの概要」には、SNL マネージャーインストールのアップグレード、サーバーに接続していないリモートの場所から SolidNetWork ライセンスを使って SolidWorks を使用する方法、SNL のトラブルシューティング等が掲載されています。併せてそちらもご参照ください。

1. 概要

SolidNetWork ライセンス(SNL)では購入ライセンスを“フロート”することにより、お求めになったライセンス数を超過することなく、SolidWorks®やアドイン製品のシート数を実際のライセンス数よりも多くインストールできます。

以下に SolidNetWork ライセンスの典型的なシステム構成例を記します。

- ・LAN 上で PC (Windows XP Professional) が例えば 31 台稼働している。
- ・その内の 1 台に SNL 用ドングルを 1 個装着し、ライセンス マネージャーとして機能させる。購入したライセンス数は仮に SolidWorks Premium 30 ライセンスとする。
- ・残りの 30 台の PC には SolidWorks ライセンスクライアントとしてインストールする。これらの PC にはドングルは必要ありません。
- ・任意の SolidWorks ライセンスクライアントで 1 台目の SolidWorks を起動する。この際に、ライセンス マネージャーと通信し、1 ライセンスの使用許可を得る。その結果、あと 29 ライセンスが使用可能数として残る。
- ・同様に、残りの任意の PC で SolidWorks を起動していき、最大 30 台の同時使用が可能です。



2. バージョンアップ手順

SNL マネージャーのインストールは以下の様にバージョンアップします。バージョンアップ実行前に、ライセンスを使用しているクライアントがないことを確認し、ライセンスサーバーを停止する必要があります。詳しい手順と注意事項については P.4 の「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーションの概要」をご参照ください。

・ライセンスサーバー上の SNL マネージャーをアップグレードするには:

旧バージョンの SNL マネージャーをコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より削除し、Program Files 内のインストールフォルダも削除します。新しいバージョンの SNL マネージャーを新規にインストールします。インストール方法は、次項目「インストール手順」を参照ください。

・ライセンスマネージャーをバージョンアップせずに、ライセンスファイルのみをバージョンアップするには:

SolidNetWork ライセンスアドミニストレータを起動し、サーバーアドミニストレーションタブのライセンスから「変更」をクリックします。ウィザードに従い、新しいライセンスファイルを指定します。

3. インストール手順

3.1 インストールの全体手順

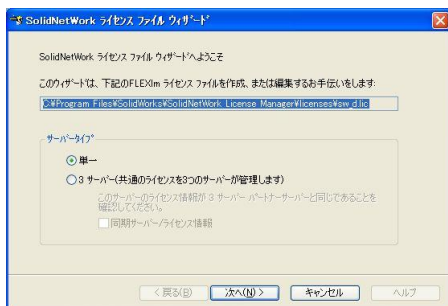
標準的な作業手順は下記のとおりです。

1. SolidWorks ライセンスサーバーへの SNL マネージャーインストール
2. SolidWorks ライセンスサーバーへのドングル装着
3. クライアントPCへの SolidWorks のインストール

本セクションでは、上記手順をベースに説明します。

3.2 ライセンスサーバーインストール手順

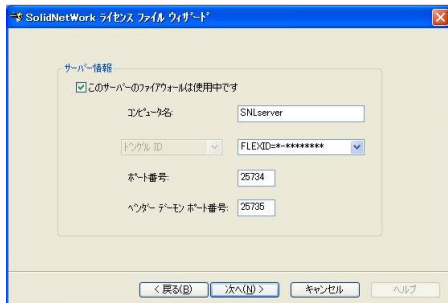
P.5、6 より インストールのオプションを選択する画面において、**<アドミニストレーティブイメージ及びサーバー製品>**の**<SolidNetWork ライセンスサーバー(配布ライセンス)>**をこのコンピュータにインストールしますを選択します。インストールを開始し、画面上の説明に従い、ライセンスマネージャーをインストールします。



この画面が表示されたらサーバータイプは「単一」を選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

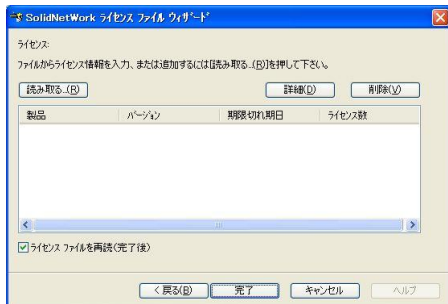
“3 サーバー”については P.4 の「SolidWorks インストールセッション及びアドミニストレーションの概要」の、「トライアド サーバー(3 サーバー)インストールセッション」をご参照ください。

ここで、 dongle を USB ポートまたはパラレルポート (Dsub 25pin) に装着します。新しいハードウェアの検索ウィザードが起動した場合は、ウィザードが終了してから次に進みます。



サーバー情報が自動表示されます。ファイアウォールをご使用の場合は「このサーバーのファイアウォールは使用中です」にチェックを入れます。ポート番号は 25734 と 25735 がデフォルト設定されます。この値が他の SolidWorks 以外のシステムと干渉する場合は、1024 から 60000 の間で変更できます。

[次へ(N)]ボタンをクリックします。



[読み取る(R)]ボタンをクリックし、供給されたライセンスファイル (FLEXlm ファイル) を指定します。



ライセンス内容が自動表示されますので、ライセンス数を確認後、[完了]ボタンをクリックします。

これでライセンスサーバーへの SNL マネージャーのインストールは終了です。

[完了]ボタンをクリックし、PC の再起動を行って下さい。

⇒Part I SolidWorks クライアントインストールへ

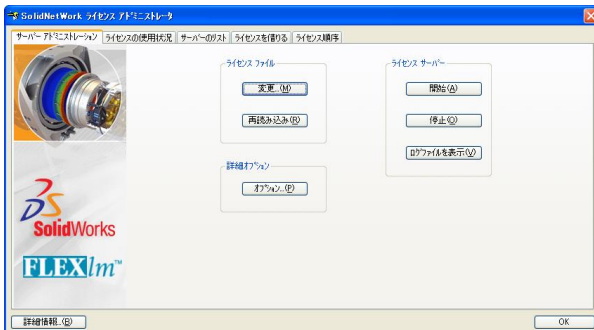
4. ライセンスアドミニストレータに関する機能・操作説明

4.1 ライセンスサーバー上でのライセンスアドミニストレータ

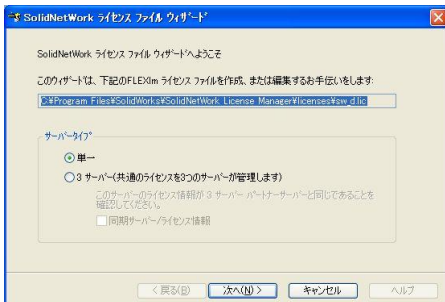
ライセンスサーバー上でのライセンスアドミニストレータダイアログを使用した操作を、以下に順次説明します。

ライセンスサーバーPC に Administrator でログインし、ライセンスアドミニストレータを起動します（「スタート」→「すべてのプログラム」→[SolidWorks <バージョン番号>]→「SolidWorks SolidNetWork License Manager」→「SolidNetWork ライセンスアドミニストレータ」）。下記ダイアログが表示されます。

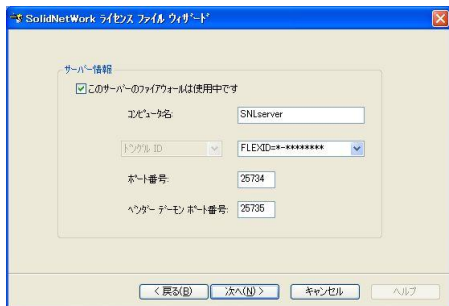
※ライセンスサーバー上のライセンスアドミニストレータでは、[ライセンスを借りる]タブと[ライセンス順序]タブは使用しません。



ライセンスファイル/「変更 (M)」ボタンをクリックするとライセンスファイルウィザードが起動します。



ここではこのまま「次へ (N)」ボタンをクリックします。



会社でファイアウォールをご使用の場合は「このサーバーのファイアウォールは使用中です」にチェックを入れます。

ベンダーデーモンポート番号は任意のポート番号に変更できます。

設定を確認し[次へ(N)]ボタンをクリックします。



現在のライセンス内容が表示されます。ライセンス数を変更した場合には古いライセンスを選択して削除後に、[読み取る(R)]ボタンをクリックし、SolidWorks 社から新規に提供された FLEXlm ファイルを読み込むことで、ライセンス条件を更新することができます。



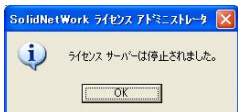
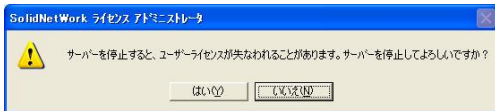
サーバーアドミニストレーションタブの 詳細オプション / [オプション(P)]ボタンをクリックすると、ライセンスサービスのインストールまたは削除作業が可能となりますが、通常は使用しません。

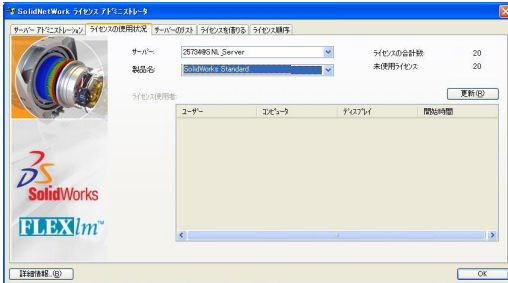


サーバーアドミニストレーションタブの [ログファイルを表示(V)] をクリックすると、下記のようなテキストファイル内容が表示されます。このログの中には、SolidWorks および Add-in の使用者アカウント、開始・終了時間が時系列で表示されます。また、この内容は、テキストファイルとして保存することができます。

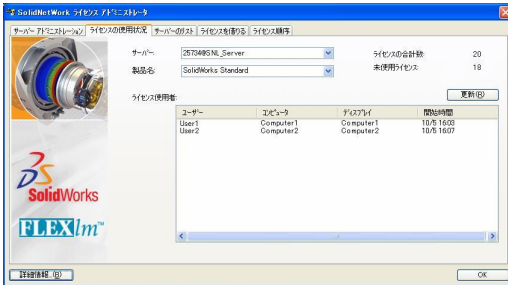
----- ログファイル例 -----
11:17:17 (SW_D) OUT: "solidworks" Administrator@PC-1
11:17:36(SW_D) UNSUPPORTED: "photoworks" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License server does not support this feature (-18,327))
11:17:36(SW_D) UNSUPPORTED: "swoffice" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License server does not support this feature (-18,327))
11:17:36 (SW_D) OUT: "swoffice" Administrator@PC-1
11:23:05 (SW_D) IN: "swoffice" Administrator@PC-1
11:33:34(SW_D) UNSUPPORTED: "featureworks" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License server does not support this feature (-18,327))
11:33:34 (SW_D) OUT: "swoffice" Administrator@PC-1
11:35:30 (SW_D) IN: "swoffice" Administrator@PC-1
11:39:41 (SW_D) IN: "solidworks" Administrator@PC-1
12:08:06 (SW_D) OUT: "solidworks" Administrator@PC-2

ライセンス サーバー/ [停止(O)]をクリックすると、下記確認ダイアログが表示されます。
(注)ライセンス使用中にサーバーを停止しないでください。必ず「ライセンスの使用状況」タブでライセンスが使われていないことを確認してください。



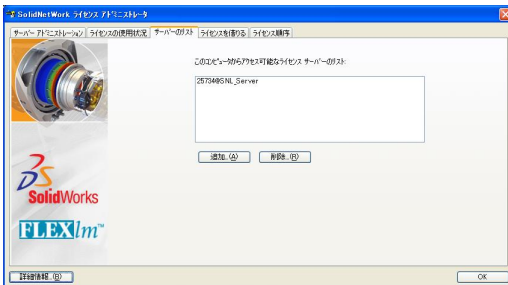


[ライセンスの使用状況]タブには、ライセンスサーバー名、ライセンスの合計数、未使用ライセンス数が表示されます。左図では、ライセンスクライアントが全く立ち上がっていない状態であり、20 ライセンスが使用可能であることを示しています。



左図は、SolidWorks クライアントが 2 台、10 月 5 日 16 時 3 分と 16 時 7 分に起動したことを表示しています。

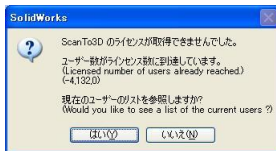
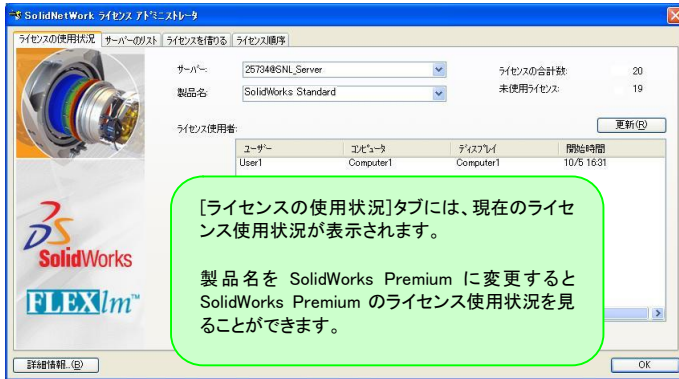
ライセンスを貸し出しているクライアント名もここに表示されます。



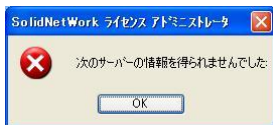
[サーバーのリスト]タブには、現時点でサービスが開始されているライセンスサーバー名がリストアップされます。

4.2 ライセンスクライアント上でのライセンスアドミニストレータダイアログ

ライセンスクライアント PC にログインし、[スタートメニュー]→[すべてのプログラム]→[SolidWorks <バージョン番号>]→[SolidWorks <バージョン番号+SP>]→[SolidWorks ツール]→[SolidNetWork ライセンスアドミニストレータ]を起動すると、以下のダイアログでライセンス情報確認を行うことができます。



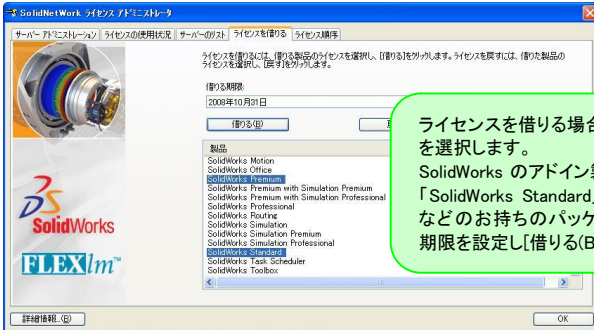
SolidWorks 使用者が例えば ScanTo3D をアドインしようとした時に、既にライセンス数分が他のユーザーにより使用されている場合は、警告画面が表示されます。<はい>をクリックするとライセンスアドミニストレータが起動し、現在使用しているユーザーを確認することができます。



ライセンスサーバーが立ち上がっていない時やライセンスサーバーに接続できない場合にライセンスクライアントをスタートさせると、エラーメッセージが表示されます。

●クライアントでライセンスを借りる場合は借りる期限と製品の種類を選択し[借りる(B)]ボタンをクリックします。

借りる期限は 30 日までです。31 日以上の日付を設定することはできません。



ライセンスを借りる場合は「SolidWorks Standard」を選択します。

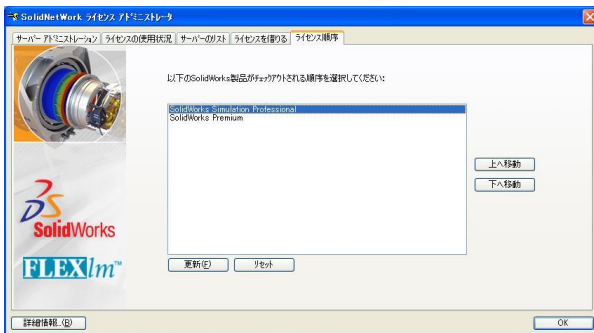
SolidWorks のアドイン製品を使う場合は図の様に「SolidWorks Standard」と「SolidWorks Premium」などのお持ちのパッケージを選択します。借りる期限を設定し[借りる(B)]ボタンをクリックします。

●ライセンスの取得順序の変更(クライアントでの設定)

パッケージ製品が[ライセンス順序]タブに表示され、クライアントがライセンスを取得する順序を変更することができます。

下記の図では SolidWorks Standard、SolidWorks Premium、SolidWorks Simulation Professional ライセンスを持っている場合の例になります。

SolidWorks Simulation Professional を上にすると、SolidWorks で Simulation をアドイン時に Premium ではなく、先に SolidWorks Simulation Professional ライセンスを取得します。その後 Simulation 製品以外の Premium 製品を使用すると Premium ライセンスも取得します。



5. システム環境条件等補足説明

5.1 ライセンスサーバー管理者がいること

- ・管理者はクライアントの構成を把握していること。たとえば、どのクライアントにインストールされているか等がわかっていること。
- ・ライセンスサーバートラブル発生の可能性は否定できません。その影響度を考えると、トラブル時に管理者等が迅速な対応ができる体制を持つことが必須です。

5.2 ライセンスサーバー

- ・Windows XP Professional、Windows 2003 Server がインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。
- ・ライセンスサーバーには、固定 IP アドレスを割り振り、クライアントから名前解決ができることが必要です。
- ・ワークステーションの場合は、Windows 仕様としてクライアントからの同時接続数は最大 10 の制限がありますが、SNL としての使用制限にはなりません。
- ・ライセンスクライアントからルータを介してライセンスサーバーと通信する場合も、TCP/IP ベースの名前解決メカニズムに依存します。(サーバー名指定時のドメイン名の付加は不要)
- ・サーバーへの 25734 及び 25735 (デフォルト時)ポートへの通信が、途中に存在するルータ、ファイアウォール、ゲートウェイ等を通過できることが必要です。
- ・SolidWorks ファイルサーバー/クライアントインストール構成の場合は、ライセンスサーバーPC を SolidWorks ファイルサーバーとは別に設定することを推奨します。
- ・ライセンスサーバーPC を SolidWorks ライセンスクライアントとしても併用できますが、推奨できません。ライセンスサーバーには SolidWorks および他のアプリケーションをインストールせずに、クリーンな状態にしておくことを推奨します。
- ・この SolidWorks 2009 SolidNetWork ライセンスサーバーでは SolidWors2009~2004 を動かすことができます。

ファイアウォールをお使いのマシンではファイアウォールを設定してください。

Windows ファイアウォールの設定方法:

SNL では 2 つのポートを使用しています。

デフォルトのポート番号 (IN)・・・25734、(OUT)・・・25735

Windows で**スタート (Start)**、**すべてのプログラム (Programs)**、**アクセサリ (Accessories)**、**システム ツール (System Tools)**、**セキュリティ センター (Security Center)**をクリックします。

Windows ファイアウォールをクリックします。

例外 (Exceptions) タブで**ポートの追加 (Add Port)**をクリックし、名前「SNL in」・・・ポート番号「25734」。名前「SNL out」・・・ポート番号「25735」を追加します。



5.3 ライセンスクライアント

- ・ライセンスを確認するタイミング、インターバルのユーザー指定はできません。また、これらの情報は公開していません。
- ・保存等の重要な処理・操作中にライセンスサーバーを認識出来なくなったときは、少なくともそれらの処理が終了するまでの間は、動作が継続します。
- ・ライセンスサーバーを認識出来なくなった場合でも、次にライセンスを確認するまでのしばらくの間 SolidWorks クライアント側での操作が可能です。
- ・SolidWorks 社製品以外の Add-In 製品は、SolidNetWork 管理対象外です。SolidNetWork 稼働環境でのそれらのアプリケーションの使用にあたっては、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

5.4 全般

・タイムアウトのデフォルト(即ち下記 sw_d.opt ファイルでの指定がない場合)は 120 分です。この間にも操作がないと使用権がタイムアウトし、サーバー側にライセンスをもどします。

- ・sw_d.opt ファイルで 15 分以上のタイムアウト時間を指定可能です。まず、
< SolidNetWork License Manager インストールフォルダ > \licenses\sw_d.opt
を新規作成し、

TIMEOUTALL <指定秒数>

という行を記述します。<指定秒数> 部分を 900(即ち 15 分)、またはそれ以上の数に置き換えます。60 分の設定例は下記です。

TIMEOUTALL 3600

その後、ライセンスアドミニストレータダイアログ上で”停止”、”開始”の順でボタン選択します。これにより、新規条件に更新されます。なお、指定した秒数と実際のタイムアウト時間との間には若干のずれが生じる場合があります。

- ・タイムアウト後、クライアント側で操作を再開した後に、ライセンスを自動で再取得します。
- ・タイムアウト後、ライセンスを再度取得に行った時点で残りのライセンスが無くなっていた場合でも、保存等の操作は可能です。
- ・ライセンスを新規に購入し、ライセンスサーバーに追加する操作を、平常運用時に実施したい場合、ライセンスアドミニストレータで、ライセンスファイルを新規のものに設定し直した後、”停止”、”開始”の順でボタン選択します。これにより、新規ライセンス数に更新されます。クライアント側では、ライセンスを自動で再取得します。上記の間、クライアント側での SolidWorks 再起動は不要です。
- ・FLEXlm についての詳しい設定は下記の「FLEXlm End Users Guide(英文のみ)」を参照してください。

<http://www.solidworks.com/pages/services/ServicePacks.html>



- ・ライセンスサーバーを切り替える場合は、下記手順で行います。
使用中の SolidWorks クライアントを全て終了させる。
現在のライセンスサーバーを停止する。
ドングルを他のライセンスサーバー設定済み PC に付け替える。
ライセンスサーバーを開始する。
SolidWorks クライアント側ライセンスマネージャーダイアログの“サーバーのリスト”タブで、旧サーバー名を削除し、新しいサーバー名を追加する。
SolidWorks クライアントを起動する。
- ・SolidWorks クライアント側へのインストール時、または SolidWorks クライアント側ライセンスアドミニストレータダイアログの[サーバーのリスト]タブで、ライセンスサーバー名を 2 つ以上設定しておくことができます。クライアントからアクセスする順番は、リストの順に、一番上から使用可能なライセンスを取得します。
- ・サーバーは通常 1 台/サイトです。なお、非常に台数が多い等の状況によっては、例えば 50 ライセンスの場合、2 台の 25 ライセンスサーバーを同一 LAN 上で稼働させることは可能です。
- ・購入先が異なるライセンスサーバーを同一 LAN 内で同時に使用する場合は、下記運用とします。
- ・購入代理店別に、ライセンスサーバー PC を分けること。例えば、ライセンスサーバー PC-A では代理店 A から購入したライセンスサーバー(例として 30 ライセンス)を稼働させ、ライセンスサーバー PC-B では代理店 B から購入したライセンスサーバー(例として 70 ライセンス)を稼働させること。なお、これらのネットワークライセンス用ドングルのシリアル番号はお互いに異なります。また、1 台の PC 上で同一バージョンのライセンスサーバーを 2 つ、またはそれ以上稼働させることはできません。
- ・各クライアント PC で使用するライセンスサーバーをあらかじめ固定・登録することが必要です。例えば上記条件で、LAN 上に 100 台のクライアント PC がある場合、30 台にはライセンスサーバー PC-A のシリアル番号で SolidWorks をインストールし、残りの 70 台にはライセンスサーバー PC-B のシリアル番号で SolidWorks をインストールします。
- ・Add-In 製品については、SolidWorks Premium や SolidWorks Simulation Premium としてライセンス管理されます。

Part III 複数のクライアントマシンへのインストール

1. アドミニストレーティブイメージによる SolidWorks インストール

アドミニストレーティブイメージは、ディスク上のソースイメージと同じように、製品をインストールするためのソフトウェアのソースイメージです。アドミニストレーティブイメージを作成し、クライアントで展開することにより、複数のクライアントに SolidWorks 製品をインストールできます。

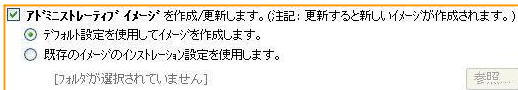
詳細については P.4 の「SolidWorks インストールセッション及びアドミニストレーションの概要」の、「複数のクライアントで展開」を参照してください。

1.1 SolidWorks のアドミニストレーティブイメージ作成

(1) イメージを作成するマシンにおいて DVD を挿入後、P.5、6 より インストールのオプションを選択する画面において、**<アドミニストレーティブイメージ及びサーバー製品>の<アドミニストレーティブイメージを作成/更新します>**を選択します。

※1 なおスタンドアロン版とネットワーク版が混在の環境で、スタンドアロン版において自動アクティベーションを行う場合には、SolidWorks はスタンドアロン版のシリアル番号を入力する必要があります。

※2 教育版ではサービスパックのアップグレードは行わないため「デフォルト設定を使用してイメージを作成します。」を選択します。



(2) P.8 (4)の手順と同様に、アドミニストレーティブイメージを作成する製品を選択します。

※eDrawings などのアドイン製品や Simulation 製品もアドミニストレーティブイメージに含むことができます。

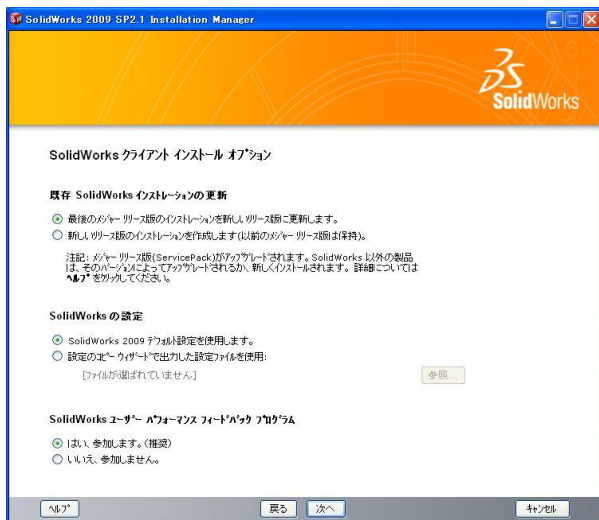
手順に従いイメージを作成します。

イメージ作成中に画面にある[ヘルプ]をクリックして参照していただくことにより、アドミニストレーティブイメージの各オプションなどの詳細をご確認いただけます。



(3) 上記画面での各オプションの説明

- クライアント インストールで自動アクティベーションを実行します (インストール開始時にスタンドアロン版の SolidWorks シリアル番号を入力した場合のみ表示されるオプションです)
このオプションを使用すると、クライアントに SolidWorks をインストール後、クライアントが SolidWorks を初めて使用する際に、SolidWorks ライセンスのサイレントアクティベーションが実行されます(各クライアントが初回 SolidWorks 起動時にインターネットに接続できる環境にある必要があります。クライアントからアドミニストレーティブイメージフォルダに書き込み権限が必要です)。また、アドミニストレーティブイメージ作成完了後にライセンスアクティベーションの連絡情報の入力画面が表示されます。(日本語、英語)
 - 各インストールで診断ログファイルを作成します(時間がかかります)
クライアント インストールの診断ログ ファイルを作成します。(クライアントからアドミニストレーティブイメージフォルダに書き込み権限が必要です)
 - 別ユーザーとしてインストールを実行
クライアントで管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、ログインしているユーザー以外のユーザーとしてインストールを実行できます。このオプションにより、クライアントでインストール時にログインしているユーザーに管理者権限がなくてもインストールすることができます。
 - インストールの前に次のプログラムを実行
インストールを行う前に実行するプログラムを参照します。
 - インストールの後に次のプログラムを実行
インストールを行った後に実行するプログラムを参照します。
- ※「～に次のプログラムを実行」オプションでは、指定するパスがクライアントで有効な必要があります。



(4) 上記画面での各オプションの説明

● 既存 SolidWorks インストールの更新

クライアントインストールの際に、インストールされている SolidWorks をアップグレードするか、新規にインストールするかを選択します。

● SolidWorks の設定

クライアントにインストールされる SolidWorks の設定を指定します。

● SolidWorks ユーザーパフォーマンスフィードバックプログラム

P.10 の(9)を参照してください。

(5) (4)の画面で「次へ」をクリックすると、「Toolbox と穴ウィザード」設定画面が表示されます。

⇒P.9 の(6)を参照してください。

(6) アドミニストレーティブイメージの作成が終了後、イメージ内に作成された StartSWInstall.hta ファイルのショートカットを作成し、ショートカットをクライアントに配布します。

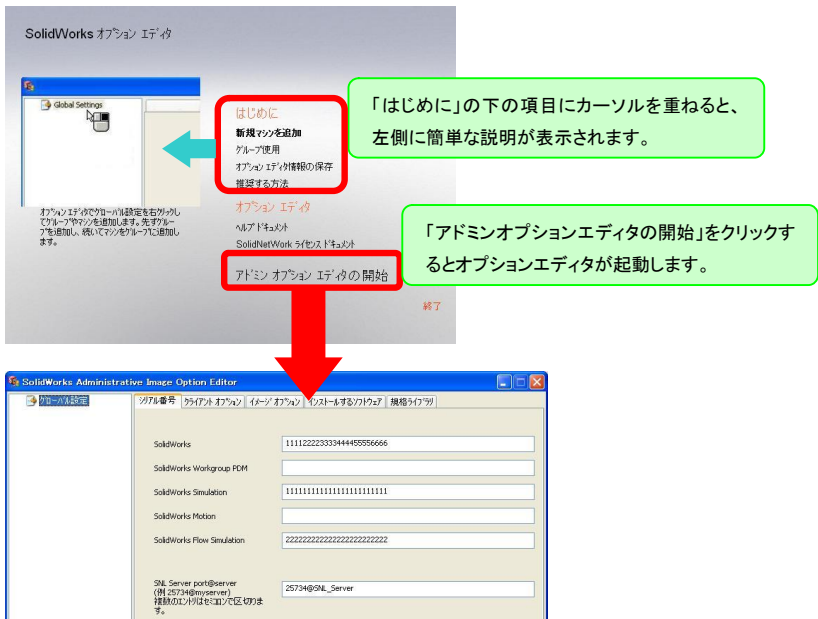
2. SolidWorks アドミニストレーティブイメージ オプションエディタ

SolidWorks アドミニストレーティブイメージ オプションエディタ(以下、オプションエディタ)を使用すると、アドミニストレーティブイメージ作成時の設定の変更、またその設定をユーザーやグループ毎に変更することができます。

ユーザーとグループの設定が重複した場合はユーザーで設定されている項目が優先されます。

(1) オプションエディタを起動するためには、

- ・アドミニストレーティブイメージ作成完了の画面で「アドミニストレーティブイメージオプションエディタ起動」にチェックを入れて[完了]をクリック。
 - ・作成されたアドミニストレーティブイメージ内にある StartOptionEditor.hta をクリック。
- 上記のいずれかの操作により下記の画面が表示されます。



SolidWorks オプション エディタ

Global Settings

「はじめに」の下項目にカーソルを重ねると、左側に簡単な説明が表示されます。

はじめに
新規マシンを追加
グループ使用
オプション エディタ情報の保存
確認する方法

オプション エディタ
ヘルプドキュメント
SolidNetWork 5 (セブス)ドキュメント

「アドミンオプションエディタの開始」をクリックするとオプションエディタが起動します。

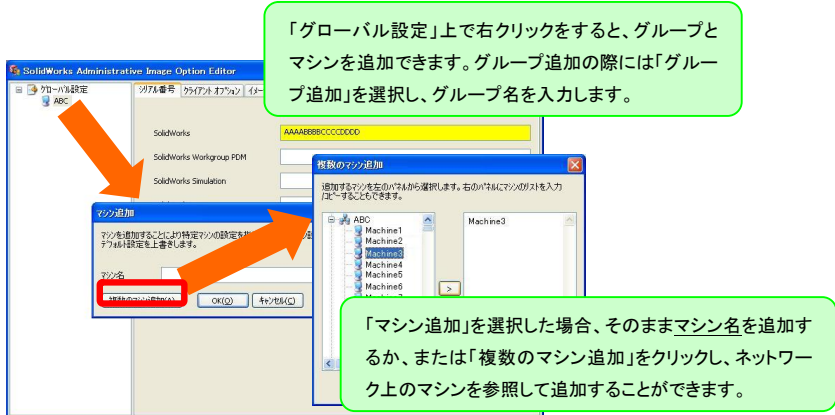
Admin Option Editor の開始

完了

SolidWorks Administrative Image Option Editor


項目	値
SolidWorks	1111222233344455566666
SolidWorks Workgroup PDM	
SolidWorks Simulation	1111111111111111111111111111
SolidWorks Motion	
SolidWorks Flow Simulation	22222222222222222222222222
SQL Server port@server (例: 25734@myserver) 接続のURLはeコマンド区切りま す。	25734@SQL_Server

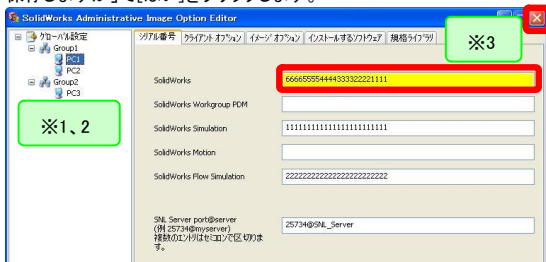
(2) オプションエディタにグループ、マシンを追加する方法



※1 「グローバル設定」が選択されている状態で各タブ内の設定を変更すると、アドミニストレーティブイメージ作成時のデフォルト設定を変更することができます。「グループ」、「マシン」選択時に各タブ内の設定を変更すると、「グループ」、「マシン」毎に設定を変更することができます。

※2 マシンをグループにドラッグ&ドロップで移動できます。ただし移動の際に各設定はグループの設定で上書きされます。

※3 設定を変更すると入力欄が黄色になります。変更を保存する場合には右上の  をクリックし、「変更を保存しますか」で「はい」をクリックします。



※4 各タブの設定内容は、P.30 (3)、P.31 (4)を参照してください。

※5 「インストールするソフトウェア」タブでは「グループ」や「マシン」毎にインストールする/しない製品を選択することができます。



3. クライアントへの SolidWorks インストール

(1) アドミニストレーティブイメージを作成したフォルダを共有します。

(2) クライアントに以下のいずれかの方法で通知します。

・アドミニストレーティブイメージのパスを通知する。

・アドミニストレーティブイメージ内に作成された StartSWInstall.hta ファイルのショートカットを作成し、ショートカットをクライアントに配布します。

(3) クライアントで StartSWInstall.hta を起動する。

クライアントで StartSWInstall.hta を起動すると、下記画面が起動します。

[SolidWorks のインストール開始]をクリックすることにより、SolidWorks のインストールが開始されます。

